

令和8年(2026年)3月31日

報告者:HKFA 審判委員会育成部

粉山 智哉

2025年度(公財)北海道サッカー協会 都道府県審判トレセン

ユース3級審判員研修会② 事業実施報告書

- 1.日 時 2026年3月19日(木)~21日(土)
- 2.場 所 まなびの里サッカー場(伊達市)
- 3.参加者 鈴木 陽和(オホーツク地区 高校3年) 鍋谷 心翔(札幌地区 高校3年)  
栗本 清香(苫小牧地区 高校3年)  
太田 碧飛(旭川地区 高校2年) 沼田 翔(札幌地区 高校2年)  
片桐 奈槻(北空知地区 高校2年) 菅原 翔太(札幌地区 高校2年)  
高久 誠弘(オホーツク地区 高校1年) 鎌田 煌誠(室蘭地区 中学3年) 以上9名
- 4.講師 粉山 智哉(HKFA 審判委員会育成部、サッカー2級審判インストラクター)  
岸本 拓洋(サッカー2級審判インストラクター)  
工藤 尚(サッカー2級審判インストラクター)  
鈴木 敏晴(室蘭地区サッカー協会 審判委員会審判委員長)  
岡田 渉(HKFA 審判委員会強化部・女子部)

5.研修内容

日時	内容	詳細
3月19日(木)		
19:00 ~21:30	開講式	「未来のトップレフェリーに贈る、実践と思考のフレームワーク」 (岸本インストラクター)
	講義(座学)	「ユース審判員による、全国審判派遣報告会」 (鈴木さん、沼田さん)
		「ファウル事象分析」・「新ユース審判員普及プロジェクト」 (古曾部インストラクター)
3月20日(金)		
8:00 ~9:00		フィールドインスペクション、W-Up
9:00 ~16:00	・実技研修 (フィードバック) ・プラクティカル トレーニング	・プレシーズンマッチ伊達スプリングフェスタ(後期)を用いた実技研修 ・プラクティカルトレーニング (①正しい10ヤード、フリーキックマネジメント) (②ゴールキーパーボール保持8秒マネジメント)
20:00 ~21:30	講義(座学)	「審判スキルの向上とその意義~ユース審判員だからできるチャレンジ~主審のポジショニングから考える」 (工藤インストラクター)

		「サッカーレフェリーに対するフィジカル要素の重要性」 (岡田インストラクター)
3月21日(土)		
8:00 ~9:00		W-Up 指導 (岡田インストラクター)
9:00 ~12:30	実技研修 (フィードバック)	プレシーズンマッチ伊達スプリングフェスタ(後期)を用いた実技研修
13:30	閉講式	

## 6. 研修内容イメージ



## 7. 研修会風景写真

### 【講義】



【審判実技】



【スモールプラクティカルトレーニング】



【フィジカルトレーニング(W-Up)】



## 【集合写真】



### 8. 研修会参加審判員感想

初めて参加して、本当に楽しかったし、すごく良い経験ができた。また次回も是非参加したいです！！この3日間、本当にお世話になりました！ありがとうございました！！

全道に審判仲間ができて嬉しかったです。最初は緊張していましたが楽しくできました。罰ゲーム感覚で面白くないと思っていた審判に奥深く面白く感じるようになりました。また行きたいと思いました。ありがとうございました。

今回で最後のユース研修でしたが、1番学ぶことができ、もっと頑張ろうと思えた研修でした。次にインストラクターの皆さん、ユースの仲間たちに会うまでにもっと成長できるように頑張ります！

研修会を通して、時には厳しく、時には和気あいあいとした雰囲気先輩方が作ってくれたので、次回以降は僕たち新3年生が引っ張って行けるように頑張りたいです。個人的には不完全燃焼でレフェリングを終えてしまったので、次回の研修会までに自分の中の課題を整理したいです。

レフェリングはもちろんですが、講義や振り返り、他のユースの人との会話で、学ぶことがとても多く、今度はもっとコミュニケーションを増やして、成長に繋げていきたいと思っています。とてもいい学びと経験ができてとても良かったです。今後の研修会でも、多くのことを学び、今後のレフェリング向上に繋げていきたいです。

ユース最後の研修ではあったが、他のユースと意見交換をしながらより良いレフェリングを探せた。市内だけでなく道内で集まったことでより刺激的な時間だった。ありがとうございました。

ポジショニング、ウォーミングアップなどなどの理論はしっかりと学ばせていただきました。サッカー未経験ながら猛烈な速度で審判界の階段を駆け上がっている人がいる。全国の舞台に立った人がいる。ですがそんな凄さがこの集団を支えているのではなく、審判にサッカーの楽しさや喜びを見出すことのできる熱量や愛こそがこの集団の要であり、これらをもった人こそ私が出会いたかった人たちなのだと感じました。

こんなに素晴らしい人たちがいる場所に来て良かったと心から感じています。支えてくれる人への感謝を忘れずに、これからもサッカーとともに生きていきます。

研修会では岡田渉 INS による w-up の効果や手順、元国際審判員の大岩真由美さんからの言葉である”誰にでもチャンスは訪れ、そのチャンスを掴むこと”の大切さを学ぶ事ができました。実技では沢山の課題点を見つけられた事が今後の審判活動をしていく上で大きな収穫となりました。去年この研修会に参加させて頂いた時と比べて”できること”が確実に増えており、同時にこれらを当たり前にしていく必要があると感じた研修会になりました。

今回の研修は私が審判として大きく成長するために良い感覚を掴めそうになったとても貴重な試合ができた。また、他の人からの意見で自分がどのように改善したらより良くなるのかが具体的にわかったため、自分がこれから審判でどのように改善するべきかの具体的な道が見えたと思います。

## 9. 研修会参加インストラクターより

本研修会の開催にあたり、U15 伊達スプリングフェスタ事務局であります、北湘南サッカースクール様をはじめ、審判研修のために試合を提供いただいた参加チームの皆様、改めて深く感謝申し上げます。また、ユース審判員をご推薦くださった各地区協会ならびに全面的にご支援いただいた各地区協会審判委員会の皆様に、心より御礼申し上げます。

本研修会は、北海道地域におけるユース審判員の育成において、きわめて重要な位置づけを持つ研修会であると考えております。審判員が何を考え、どのように理解し、そして、どのようにパフォーマンスに繋げるのか。その流れに、インストラクターがどのように関われば、最大限に成長させてあげられるのか。本取組が1つのフレームワークとなり、審判員が成長への自走化に繋がるよう心がけました。

今後とも審判員の審判技術や知識の習得だけでなく、審判員としての資質や人間性を育てる場としても活動していきたいと思っております。このような取り組みを継続し、今後、一人でも多くのユース審判が審判の楽しさ、魅力を感じてもらえればと思っております。

引き続き本委員会の取組みに関し、皆様のご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。